

ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術

入院患者さんパスシート(No.1)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月日	/		
経過	入院1日目(手術前日)		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に臨むための心身の準備をしましょう。 手術や麻酔の目的について理解しましょう。 手術に伴う転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔について不明な点は医師や看護師に伝えましょう。 		
検査	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔科の診察があります。 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 11時より食事が食べられません。 21時よりお水を飲むことができません。 		
活動	<ul style="list-style-type: none"> 病棟を30分以上離れる場合はお申し出下さい。 手術後、尿管、排液の管が挿入中は入浴が禁止となりますので、手術前日に入浴しましょう。 		
薬	<ul style="list-style-type: none"> お薬を内服されている方は、お薬手帳と2週間分程度お持ち下さい。医師、薬剤師が確認し継続するかどうか確認します。 夕食後に下剤を内服して頂きます。 		
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活について看護師が説明します。 手術について看護師が説明します。 骨盤低筋群運動について説明します。パンフレットの「尿漏れを少なくするための準備」を参考にしてください。 手術についての確認を行います。 <p>不安なことや疑問点がありましたら、看護師へお尋ねください。</p> <p>—手術に必要な物品—</p> <ul style="list-style-type: none"> 持参の浴衣か院内レンタル浴衣1枚 持参のバスタオルか院内レンタル1枚 T字帯1枚 腹帯1枚(着替え用もう1枚あると便利) 弾性ストッキング(病棟にて用意します) 		



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術
入院患者さんパスシート(No.2)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日



月日	経過	
経過	2日目(手術当日:手術前)	2日目(手術当日:手術後)
達成目標	<ul style="list-style-type: none">術前処置を受け、手術に向けての準備をしましょう。	<ul style="list-style-type: none">身体の苦痛がある時には我慢せずに看護師に伝えましょう。
検査		<ul style="list-style-type: none">手術後に採血をします。
排泄	<ul style="list-style-type: none">午前中の手術であれば朝6時、午後の手術であれば朝10時までに浣腸をします。	<ul style="list-style-type: none">尿の管が入っています。排便はベッド上で差し込み便器を使用し行います。
観察		<ul style="list-style-type: none">尿の状態(色、排出量)を観察します。体温、血圧、脈拍、呼吸状態を1時間ごとに測定し、観察に挙げている内容を確認します。痛みの程度を観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none">引き続き食べたり飲んだりすることができません。	<ul style="list-style-type: none">引き続き食べる事、お水を飲むことはできません。それまではうがいを行う事ができます。看護師が手伝いますので、お声をかけて下さい。
活動	<ul style="list-style-type: none">手術室へ移動します。義歯・貴金属類は全て外します。浴衣に着替えましょう。麻酔の妨げになることがありますので、男性は髭を整えてください。	<ul style="list-style-type: none">ベッド上安静です。横向きになれます。酸素吸入終了後より上体を起こすことができます。体に管が繋がってきていますので、最初は看護師が説明しながらお手伝いをします。
薬	<ul style="list-style-type: none">朝、少量の水で薬を内服して頂くことがあります。	<ul style="list-style-type: none">24時間点滴を行います。
治療	<ul style="list-style-type: none">血栓予防のためのストッキングを着用して頂きます。	<ul style="list-style-type: none">酸素吸入をします。足に血栓を予防する機械を装着します。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">貴重品は金庫に入れて鍵をかけて下さい。	<ul style="list-style-type: none">痛みなど症状に合わせて薬を使用します。遠慮なくお知らせ下さい。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術
入院患者さんパスシート(No.3)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月日	/	
経過	3日目(手術後1日目)	4日目(手術後2日目)
達成目標	<ul style="list-style-type: none">・痛みがあるときや気分が悪い時は看護師に伝えましょう。・ドレーンや尿の管、点滴の針が抜けないように気を付けましょう。※ドレーン:お腹の中に入っている排液の管のこと。・看護師の介助のもと歩き、転倒に注意しましょう。 	
観察	<ul style="list-style-type: none">・血圧と体温を観察しましょう。・尿の状態(色、排出量、性状)を観察します。・ドレーンの状態(色、排出量、性状)を観察します。・足の動きが良好か、しびれの有無、感覚の状態を観察します。・痛みの程度を観察します。	
検査	・朝採血をします。日中レントゲン検査があります。	・適宜採血やレントゲンの撮影を行います。
排泄	<ul style="list-style-type: none">・尿の管が入っています。・歩行できればトイレで排便が可能になります。・トイレへ行きたい時は看護師にお伝え下さい。※便秘気味な方は看護師にお伝え下さい。・排便時に力んでしまうと出血を助長することがあるため、整腸剤を処方します。	
食事	<ul style="list-style-type: none">・お腹が動いていること確認できたらお水を飲むことができます。・お食事は排ガスが出てから開始となります。・流動食→五分粥→全粥→常食の順番で出てきます。術後専用の食事となるため常食となるまで引き続き間食はお控え下さい。	
活動	<ul style="list-style-type: none">・看護師の介助のもと歩行を始めましょう。歩行の状況に応じて、その後も看護師の付き添いが必要か判断させていただきます。	
治療	<ul style="list-style-type: none">・点滴は手術後2日目で終了します。・歩行できたら、血栓予防の機械を外して弾性ストッキングを脱ぎます。・痛みなど症状に合わせて薬を使用します。 	
説明指導	<ul style="list-style-type: none">・ドレーンや尿の管、点滴の針が抜けないように気を付けましょう。①ベッドの柵に管が引っかからないように気を付けましょう。②衣類の着脱時などに、管が引っ張られないように気を付けましょう。・痛みや気分不快があれば、看護師にお伝えください	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術
入院患者さんパスシート(No.4)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月日	/
経過	5日目～9日目(手術後3日目～手術後7日目)
達成目標	<ul style="list-style-type: none">・痛みがあるときや気分が悪い時は看護師に伝えましょう。・お腹や尿の管が抜けないように気を付けましょう。・転倒に注意して動く時間を増やしましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none">・採血やレントゲン撮影を適宜行います。
排泄	<ul style="list-style-type: none">・排便時強く力まないようにして下さい。
観察	<ul style="list-style-type: none">・血圧と体温を観察しましょう。・尿の状態(色、排出量、性状)を観察します。・ドレーンの状態(色、排出量、性状)を観察します。・足の動きが良好か、しびれの有無、感覚の状態を観察します。・痛みの程度を観察します。 
食事	<ul style="list-style-type: none">・感染予防の為に水を多めに飲んで下さい。入院中は、1日1～2リットルを目標にして下さい。
活動	<ul style="list-style-type: none">・制限はありません。病棟を30分以上離れる際はお申し出下さい。 
治療	<ul style="list-style-type: none">・発熱がなく、食事の量も問題なければ術後3日目に点滴の針を抜きます。・痛みなど症状に合わせて薬を使用します。・ドレーンは量や性状をみて医師が抜きます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">・早期の回復やお腹の動きを良くするためには、歩行が大切です。少しずつ活動範囲を広げていきましょう。・術後は体力の低下や痛みにより転倒しやすい状況です。歩行時は自分のペースで転倒に注意して歩きましょう。・ドレーンが入っているため、引き続き管が抜けないよう気を付けて下さい。

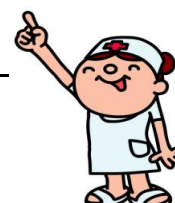
このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術

入院患者さんパスシート(No.5)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日


月日	/
経過	10日目(手術後8日目)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・お小水が出ることを確認し、尿漏れ表を使用できるようにしましょう。 ・骨盤低筋群運動の方法を覚えて、毎日実施しましょう。 ・退院後気を付けるべき症状を理解しましょう。 ・転倒に注意して動く時間を増やしましょう。 <p>【退院時の達成目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①発熱なく血圧が安定している事 ②お小水が出ている事
検査	・膀胱造影検査があります。時間については看護師から当日に説明があります。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の尿量を測定するため、尿をカップにとって下さい。また、尿漏れがある場合はパッドカウントを行います。 ・自分でも尿の色を注意して見て下さい。 ・排便時強く力まないようにして下さい。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、排出量、性状)を観察します。 ・ドレーンの状態(色、排出量、性状)を観察します。 ・痛みの程度を観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の為に水を多めに飲んで下さい。 ・入院中は、1日1~2リットルを目標にして下さい。 ・制限はありません。 
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 ・病棟を30分以上離れる際にはお申し出下さい。 
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・造影の検査をして問題なければお小水の管を抜きます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・骨盤低筋群運動について説明します。 ・パンフレットにある「尿漏れを少なくするための準備」を参考にして下さい。 ・尿の管が外れた後「尿漏れ表の使用法」について看護師から説明があります。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術
入院患者さんパスシート(No.6)

ID	
氏名	
生年月日	

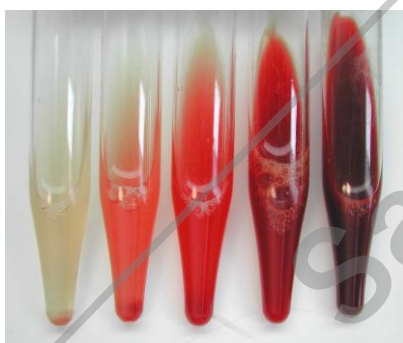
診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月日	/
経過	11日目(手術後9日目)
達成目標	<ul style="list-style-type: none">・お小水が出ることを確認し、量や排尿間隔を理解しましょう。・骨盤低筋群運動を継続して実施しましょう。・退院後気を付けるべき症状を理解しましょう。 【退院時の達成目標】 ①発熱なく血圧が安定している事 ②お小水が出ている事
検査	・採血やレントゲン撮影を適宜行います。
排泄	<ul style="list-style-type: none">・引き続き尿もれ表の記載をして下さい。・自分でも尿の色を注意して見て下さい。・排便時強く力まないようにして下さい。
観察	<ul style="list-style-type: none">・尿の状態(色、排出量、性状)を観察します。・ドレーン抜去部の状態(色、排出量、性状)を観察します。・痛みの程度を観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none">・感染予防の為に水を多めに飲んで下さい。入院中は、1日1~2リットルを目標にして下さい。・制限はありません。
活動	<ul style="list-style-type: none">・制限はありません。病棟を離れる際にはお申し出下さい。 
治療	
説明指導	<ul style="list-style-type: none">・パンフレットにある「退院後の生活について」説明します。・保険等の書類は退院時にAブロック受付へ提出をお願いします。・緊急時は日本医科大学付属病院(03-3822-2131)の泌尿器科外来Bブロックまでご連絡下さい。・次回外来受診時、排尿自立度評価表をご持参下さい。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

退院後の生活について

- 排泄:
- ・尿が出なくなった場合や、残尿感、尿漏れが悪化した場合は病院受診して下さい。
 - ・下記の血尿スケールでⅡ以上が続くような場合は病院を受診して下さい。
 - ・日頃から便秘にならないように気を付けましょう。



I II III IV V

- 食事:
- ・お酒や刺激物は控えて下さい。
 - ・退院後は水やお茶を1500～2000mlは飲むよう心がけましょう。
- 活動:
- ・散歩といった日常生活上の運動は行っても構いません。
 - ・激しい運動は次回の外来日に担当医師へ確認しましょう。
- 治療:
- ・中止していた薬がある場合は、開始日の確認をして下さい。
 - ・定期的に外来通院をして下さい。
- 説明:
- ・病棟で預かっている物や薬は返却致します。万が一、返却されていない場合は看護師へお申し付け下さい。
 - ・忘れ物がないよう確認し退院して下さい。
 - ・入院費の概算は退院当日に病棟責任者が病屋にお届け致します。
 - ・本館1階の入院受付又は精算機をご利用下さい。
 - ・次回外来日は(/)です。詳細は予約票を参照してください。
- 緊急時:
- ・38度以上の熱が続く場合は病院へ連絡し確認するか、受診をして下さい。
 - ・緊急時や不安、疑問がありましたら平日9時～16時までは泌尿器科外来へ、休日や祝日、夜間は救急外来へ連絡または受診するようにして下さい。



日本医科大学付属病院
(03)3822-2131
泌尿器科外来B7ブロック